

平成 28 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅢ講座 教授
氏名 Name	山根聡
専門分野 Academic Field	南アジアのイスラーム文化

主たる研究テーマ Principal Research Subject	南アジアのイスラーム文化
<p>当初の計画にあったように、中東情勢研究会においてパキスタンの最新の情勢に関する研究報告を行い、これを国際情勢研究所の紀要に論文として発表した。また 9 月に神戸市外国語大学で開催された日本南アジア学会全国大会での共通論題で 20 世紀初めの南アジアのムスリムの動向に関する研究報告(英語)に対し、英語でのコメントを行った。10 月にはトルコ・アンカラでの国際ウルドゥー文学会議において、現代作家アフマド・ナディーム・カースミーに関する研究発表を行い、その成果をパキスタンの文学雑誌に刊行させた。</p> <p>科研費等プロジェクト関連の成果としては、分担者を務める「声と文字をめぐる宗教実践の研究」(基盤研究 B)では 5 月に開催された東南アジア学会で研究報告へのコメントをおこない、近現代インドにおける食文化をめぐるアイデンティティの研究」(基盤研究 B)については、12 月にインド・デリーのネルー記念図書館会議場において、デリー大学と日本学術振興会の共催で開催された国際会議で英語による研究発表を行い、本プロジェクトの成果として味の素の文化センター出版の雑誌『VESTA』に共著論文を発表、また日本語での論文を執筆、現在出版に向けて交渉を進めている。また、人間文化研究機構プロジェクト「現代南アジア研究」については、2017 年 2 月に龍谷大学で開催された国際会議でパキスタン人研究者の報告に対するコメントを担当した。また、「中東における国家安全保障と国民統合の課題—新たな平和構築・開発支援論」(基盤研究 A)では、2 月に同志社大学で開催された国際会議で英語による研究報告を行った。</p> <p>このほか、アフガニスタンの現状について拓殖大学の紀要に論文を発表したほか、書評を『英語教育』に発表、NHK 出版からはパキスタンのメディア事情に関する報告を分担執筆して刊行させた。</p> <p>上記の通り、当初の研究計画を上回る成果を出すことができた。</p>	